



深江中学校だより

令和4年10月14日

第9号

文責：校長 黒岩 洋史

【学校教育目標】 ～社会に貢献できる 人間性豊かで しなやかな 生徒の育成～
【スローガン】 時を守り 場を清め 礼を正す

南島原市中総体駅伝大会 男女アベック優勝！

10月6日(木)諫早市のトランスコスモススタジアム長崎において、令和4年度南島原市中学校総合体育大会駅伝競走が、雲仙市・大村市との合同で開催されました。男子は8校参加の6区間(全区間3kmの計18km)、女子は8校参加の5区間(全区間2kmの計10km)で行われ、見事、男女アベック優勝を果たしました！(深江中の男女アベック優勝は、初めて、もしくは相当久しぶりではないかとのことでした)また、区間賞を、男子の2区：河原光太郎さん(2年)、4区：原 琉斗さん(2年)、女子の2区：伊藤芽生さん(2年)、3区：上田 采奈さん(2年)、5区：下田侑奈さん(3年)の5名が獲得しました。区間賞を逃した生徒や、当日サポート役に回った生徒も含め、夏の猛暑の中、弱音を吐かず地道に練習を重ねてきた駅伝選手全員の努力が実を結んだ結果でした。本当によく頑張りました！事前に開催した激励会の中で、選手に「次の走者のことを思って1秒を削り出す走りを、前の走者のことを思って1秒をしばり出す走りを」して欲しいと言って激励しましたが、本番では正にその言葉を体現してくれました。選手の頑張りはもちろんですが、生徒の力を最大限に引き出した担当職員や、ご理解・ご協力をいただいた保護者・地域の方々、気持ちよく駅伝選手を送り出してくださった部活動の指導者の方々、駅伝大会に向けて生徒・職場の士気を高めた本校職員のチームワーク等による勝利でもありました。お陰様で、深江中は今、活気があり勢いづいています。今回の結果を、今後の学習や学校行事につなげて行きたいと思います。県中総体駅伝大会は、11月10日(木)に同じ会場で開催されます。

文化発表会

11月1日(火)の午後、すでに案内のとおり深江体育館で文化発表会を行います。コロナ前まで行っていたステージ発表や生徒作品の展示等はなく、今年度も、合唱コンクールのみの実施となります。感染対策として、学年ごとに保護者の入れ替えを行うため、ご迷惑をおかけすることになりますが、ご理解とご協力をお願いいたします。各学年・学級の課題曲・自由曲・指揮者・伴奏者は、配布済みのプログラムでご確認ください。

今、合唱コンクールに向け、深江中学校のあちらこちらで生徒の歌声が溢れています。本番ではどのような歌声を響かせてくれるか楽しみにしています。感染対策並びにご都合のつかれない保護者向けのオンライン配信も行いますが、保護者の皆様のご来場をお待ちしています。

修学旅行(第2学年)

11月14日(月)～16日(水)の日程で、本校第2学年の修学旅行を実施いたします。目的地は、鹿児島・熊本方面です。9月29日(木)には、保護者説明会を開催しました。過去2年間は、コロナ禍により全国の各種学校で、修学旅行の延期や行き先の変更等を余儀なくされ、残念な思いをした子供たちも多かったと思います。修学旅行といえば、生徒にとって中学校生活で一番思い出に残る最大のイベントと言っても過言ではありません。コロナ禍で色々な学校行事が縮小等されている中、今回は、今のところ無事に実施できそうです。去年・今年と、色々な活動が制限された中学校生活を送ってきた現2年生だからこそ、色々学び、しっかり楽しんで、思い出に残る修学旅行になって欲しいと願っています。

(裏面もあります)

部活動について

本校には、運動部・文化部合わせて12部の部活動を設置しています。多くの生徒が入部して活動しており、各種大会に出場して活躍しています。本来であれば、例年、年度当初に行う部活動振興会総会において、校長として、指導者の方々や保護者の皆様に「部活動の在り方」等についてお伝えしなければならなかったのですが、コロナ禍によりそれも叶っていません。9月末をもって、全ての部活動が1・2年生の新体制になったこともあり、今回、学校だよりでお伝えしたいと思い（本来であればもっと早目にお伝えすべきでしたが…）、紙面を割いたところです。本校職員へは、年度当初の学校経営方針説明等の中で「部活動経営をする上での留意点とポイント」として、以下の●印に示すような経営をするよう指導しています。中には、既にご承知の内容も掲載していると思いますが、確認の意味で目を通していただければ幸いです。（※部活動には、よく「指導」と言う言葉が使われますが、顧問や指導者が行うのは、「部活動指導」ではなく、学校経営・学年経営・学級経営と同じく「部活動経営」です。「指導」は「経営」の一部です。）

●**部活動の意義**中学校における部活動は、その活動を通して、様々な技術の習得はもちろん、礼儀やマナー、社会性、コミュニケーション能力、責任感、協調性、忍耐力など、生きていくために必要とされる様々な能力を養うことが期待できます。勝利のみに固執した指導ではなく（いわゆる勝つことやいい結果を求めることだけでなく）、あくまで、人間形成の場としての活動を重視するよう、本校の教職員にも指導しています。勝利やいい結果などを求めるなどということではありません。勝利やいい結果を求めること、目標を立てて頑張ることなど、それらの過程は大切です。極端な勝利至上主義の部活動経営にならないよう、注意が必要です。私もそうですが、保護者の皆様の中にも、部活動を経験されている方は、部活動で培った様々な力がその後大いに役に立ったと思われる方も多いのではないのでしょうか。

●**部活動の構成要素**部活動は、「指導者」「生徒」「環境」の3つの要素で成り立っています。指導者とは、主に生徒へ指導する顧問や外部指導者等のことで、環境とは、施設・設備・道具等の整い具合や資金面、週何回練習できるか等もありますが、環境の中には「保護者」も含まれます。効果的な部活動経営を行う上で、「保護者」は大きな役割を担います。

●**指導者の役割**指導者の役割は、「生徒が持っている能力を最大限に引き出してやること」です。そのため、本校の顧問や外部指導者の方々は、学校業務や仕事等でたいへん忙しい中、放課後も休日も、本来であれば家族や趣味、休暇、他の仕事などに使える時間を削ってまで、生徒たちのために指導に携わってもらっており、本当に感謝しております。その気持ちは保護者の皆様も同じだと思います。更に言えば、外部指導者の方々へは、年間、わずかばかりの謝金でお引き受けいただいておりますし、顧問も同様です。（教員には、いわゆる残業手当の支給はなく、「定額働かせ放題」と揶揄されています…）外部指導者の方も顧問も、ほぼボランティア同然で従事していただいております、本当にありがたい限りです。

●**保護者の役割**部活動経営において、保護者がやるべきことは「協力すること」と「我慢すること」この2つです。「協力すること」は、本校はどの部もしていただいていると思います。他地域の教員から、「島原半島は色々な部活動が強いが、その要因の一つは、保護者の理解と協力が素晴らしいから」と言われたことが何度かあります。（裏を返せば、他地域では、保護者の理解や協力がなかなか得られず、苦勞している部活動があるということです。）「我慢すること」について、私も保護者の立場の経験がありますので、つつい部活動について口出ししたくなる気持ちも分かりますが、部の経営に関することで、何かあれば、保護者から直接、顧問や外部指導者に伝えるのではなく、まず、保護者部長にご相談ください。保護者部長は、内容をご検討いただき（場合によっては臨時保護者会を開くなどして）、保護者会の総意として伝えた方がいと判断された場合は、保護者部長から顧問や外部指導者へお伝えください。このことは、効果的な部活動経営上、非常に大切なことです。ただし、我が子の個人的な悩みの相談等は、直接、顧問等にされても結構かと思えます。

●**子供の成長のために…**子供の成長のために大事なことがもう一つ。おわりのこととは思いますが、子供の前で、指導者（顧問・外部指導者）、我が子以外の部員、他の保護者等の、批判をしない・悪口を言わないことが大切です。子供にとって、自分の親は、最も身近で、最も見方でいてくれる大人、そういう存在です。その親の考えや発言は、子供に大きな影響を与えます。もし、自分の親が、部活動指導者の悪口を目の前で言ったとしたら、子供は次の日からどういう気持ちで指導を受ければいいのでしょうか？指導者の教えることができるのでしょうか？成長できるのでしょうか？「子供の伸びる芽を簡単に摘む方法は、保護者が、我が子の前で、先生の批判・悪口を言うこと」とも言われます。これは、部活動の顧問や指導者等に対してだけでなく、学級担任等にも言えることです。我が子の成長のため、気をつけたいものですね。